

## 平成28年度第3回経営協議会報

総務部総務課

日 時 平成28年12月9日（金）13:30～14:55

### 審議事項

#### (1) 平成28年人事院勧告等への対応について

小島理事から、平成28年人事院勧告等への対応について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。なお、関係規程等の一部改正については、学長に一任することが確認された。

なお、審議に当たって、委員から次のような発言や質疑応答があった。

○第三期中期目標期間中の人件費の見通し（定期昇給等を含め）を示してほしい。併せて、今後の人件費の在り方について、同規模大学と人件費比率を比較し、改めて議論させていただきたい。

→同規模大学と比較すると人件費比率は少し高くなっており、人件費の抑制が課題となっている。厳しい財務状況を踏まえると、中長期的な見通しを検討していく必要があると考えている。

#### (2) 平成28年度支出予算の執行について（案）

小島理事から、平成28年度支出予算の執行について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

#### (3) 総合的教職員ポスト運用戦略について

西田理事から、総合的教職員ポスト運用戦略について、資料に基づき、教員ポストの運用、並びに非常勤講師経費の抑制案の策定及び審議経過について説明があった。

引き続き、小島理事から、資料に基づき、事務系職員等の取扱いについて説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、審議に当たって、委員から次のような発言や質疑応答があった。

○事務系職員等の取扱いについて、教員ポストとの関係を説明していただきたい。

また、教員については、定年退職者数及びその他の離職者数、事務系職員については、退職者数及び採用者数について教えていただきたい。

→議論の過程では具体的な数値に基づいて検討を進めてきた。

また、本学教員は毎年平均25人程度が退職しており、そのうち約2%を留保しているが、病院収入にかかる医学系の教員は特に留保していないため、再配分できるのも5～6ポスト程度である。事務系職員は、毎年10人から15人程度が定年で退職しており、採用については、退職者数よりも少し多めに採用している。

○「医学部附属病院の経営を踏まえ、医療系職員には配慮する」とあるが、どういう点をどのように配慮するのか。

→医療系の看護師、コメディカルの方々もその他職員には該当するが、具体的に留保はせず、削減の対象にはしないという考えである。

#### (4) 平成29年度予算編成方針（案）について

小島理事から、平成29年度予算編成方針（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、委員から指摘のあった箇所を修正することとし了承された。

なお、審議に当たって、委員から次のような発言や質疑応答があった。

○大学院の各専攻の入学定員は充足しているのか。確保すべき収入の維持という観点から、入学定員の充足についても記述した方が良いのではないのか。

→大学院の充足率については、特に修士、博士前期課程は必ずしも100%ではないため、課題として認識している。さらに除籍者も多いため、教育的支援・指導を工夫し、除籍対象者を減らしていけないかと考えている。重要なご指摘なので、方針に追加したい。

○決算から見た本学の状況について診療経費を分母に含めているが、病院独自の特殊性があるため、分けて記述した方が分かりやすいのではないか。

→ご指摘のとおり診療経費を除いたものを追加したい。

## 報告事項

### (1) 平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について

川本副学長から、平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料に基づき報告があった。

### (2) 上原キャンパスの移転について

福治上原地区キャンパス移転推進室長から、上原キャンパスの移転について、資料に基づき報告があった。